

English Expression I

担当講師：守屋碧 (Aoi Moriya)

使用教材：第一学習社 Perspective I

放送日時：毎週金曜日 21:00～21:30

英表 I 年間予定表 (2021 年度)

放送日	単元名	学習内容
4/16	科目ガイダンス・英語の品詞	
4/23	L1: After the Party	【文法】SV, SVC, SVO 文型
4/30		【表現】言いかえる／念を押す
5/7	L2: Our School	【文法】SVOO, SVOC 文型
5/14		【表現】話題を変える, 話題の発展
5/21	L3: Movie Club	【文法】現在時制と過去時制
5/28		【表現】感謝する／苦情を言う
6/4	L4: In a Shopping Mall	【文法】進行形
6/11		【表現】称賛する／謝る
6/18	L5: A New Restaurant	【文法】未来表現
6/25		【表現】計画を伝える／約束する
7/2	L6: Seeing a Doctor	【文法】現在完了形
7/9		【表現】喜ぶ／望む
7/16	L7: A Tough Trip	【文法】過去完了形
7/23		【表現】心配する／同情する
7/26～8/28 は夏期休暇のため通常授業は休講です		
9/3	L8: Soccer	【文法】受動態
9/10		【表現】驚く
9/17	L9: A Telephone Call	【文法】助動詞
9/24		【表現】助言する／依頼する
10/1	L10: My Dream Job	【文法】不定詞（名詞用法）, 動名詞
10/8		【表現】提案する／勧誘する
10/15	L11: Miracle on the Hudson	【文法】不定詞（形容詞用法）
10/22		【表現】許可を求める／質問する
10/29	L12: Aki's Visit to Singapore	【文法】不定詞（副詞用法）
11/5		【表現】許可する／断る

11/12	L13: A Fantasy World	【文法】 分詞
11/19		【表現】 命令する／禁止する
11/26	L14: Getting to Carnegie Hall	【文法】 名詞節
12/3		【表現】 主張する／意見を述べる
12/10	L15: TV and the Internet	【文法】 副詞節
12/17	L16: Dinosaurs	【文法】 関係節（制限用法）
12/24		【表現】 申し出る
12/27~1/8 は冬期休暇のため通常授業は休講です。		
1/14	L17: Mangrove Forests	【文法】 関係節（非制限用法, what）
1/21		【表現】 推測する
1/28	L18: International Student Summit	【文法】 仮定法
2/4		【表現】 仮定する／願望する
2/11	L19: Mobile Phones	【文法】 前置詞
2/18		【表現】 賛成する／反対する
2/25	L20: Introducing Japanese Culture	【文法】 形容詞, 副詞
3/4		【表現】 説明する／描写する
3/11	L21: <i>Terakoya</i>	【文法】 比較表現
3/14~4/9 は春期休暇のため通常授業は休講です。		

※時間の都合上 Lesson22: Free Papers, Lesson23: The Last Man to Give Up, Lesson24: Advice for Young People は取り扱うことができません。強調構文や名詞構文はコミュニケーション英語で取り扱うことで英語表現の講義に代えさせていただきます。

*** 次のページに第 1 講講義資料を掲載しています。**

English Expression I Worksheet

第1講 科目ガイダンス・英語の品詞

1 科目ガイダンス

「英語表現Ⅰ」は、皆さんが英語で何かを表現するために必要な知識を提供する科目です。主に文法事項の学習をし、英文を書けるようになることが目標です。中学校で習った文法事項もあれば、はじめてでてくる文法事項もあります。これから1年間、じっくりと英文法を学んでいきましょう。

2 文法はルール

文法は、言葉におけるルールです。言語はもともとコミュニケーションの手段なので、たとえば”Me Japanese!”のような文でも伝わらないことはないのですが、その言葉を使う上で、必要なルールを守って会話をしなければ英語話者全員に伝わりません。日本語には日本語のルールがあり、英語には英語のルールがあるのです。支離滅裂では言いたいことがきちんと伝わらないのです。ですから、きちんと文法を学び、ルールに従って表現していく必要があります。

3 英語の品詞

品詞とは、語の性質や働きを示すグループのことです。日本語にももちろん品詞はあります。しかし、各言語で共通する品詞（名詞や動詞など）と、各言語に特有な品詞（日本語なら助詞、英語なら冠詞など）があります。

【英語の品詞】

品詞名	性質や働き	英単語の例	日本語の有無
名詞	人やものの名前を表す	apple, water, lunch, Meg	ある
代名詞	名詞に代わって人やものをさす	I, your, this, it	ある
動詞	動きや状態を表す	go, eat, arrive, live	ある
助動詞	動詞の前に置き、ある特定の意味を加える	can, will, must, may	ある
形容詞	名詞を説明する、性質を言う	large, cute, great, bad	ある
副詞	名詞以外の品詞を説明する、情報を加える	very, usually, probably	ある
冠詞	名詞の前に置き、名詞を特定化、不特定化する	a, an, the	ない
接続詞	語句どうし、文どうしをつなぐ	and, but, because, if	ある
前置詞	名詞の前に置き、名詞の状態を説明する	at, on, in, with	ない
間投詞	呼びかけや応答を言う	hello, wow, oh	ある
疑問詞	疑問文を作る	when, what, how, who	ある
関係詞	関係詞節を作り、語句を説明する	who, which, that, what	ない

4 英語の文の要素

英語の文は、主語 (S: Subject) と動詞 (V: Verb) がなければ成立しません。このほかに、補語 (C: Complement), 目的語 (O: Object), さらにそれらを補足説明する修飾語 (M: Modifier) からなっています。いくつか例文を見てみましょう。

(EX1) Takeshi is a student. (タケシは学生である。)

S V C

(EX2) Risa played table tennis at school. (リサは学校で卓球をした。)

S V O M

英語では、絶対に S+V の語順は崩しません (be 動詞の疑問文など一部例外あり)。しかし、そのあとに O をおくか、C をおくか、両方をおくか、M のみをおくかなど、そのあとの構成は何パターンかあります。それが、第2講・第3講で学習する「英語の基本5文型」です。次回は、5文型のうち、S+V のみ、あとに C のみを配置、O のみを配置した文型を学習します。なお、修飾語 M は、文型を考える際にはあまり気にしません。その理由は次回以降の講義でお話しします。